

令和5年度 鳥取県小中高生プログラミングコンテスト募集要項

1. 目的・趣旨

■小中高生に将来の夢を育む

鳥取県小中高生プログラミングコンテストは、子どもたちがプログラミングを学び、自分でコンピュータを動かしたときの感動や作った作品を発表する体験を通して、ICTへの興味や関心を呼び起こし、将来への夢を育むことを目的に実施します。

■初心者向け無料プログラミング体験教室開催予定（新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止の可能性もありますので、決まり次第にホームページに掲載します）

内容は、単純な処理機能を有するブロックを組合せることで、プログラミングが可能な「スクラッチ」によるプログラミング体験教室で、難しい命令や文法を覚える必要がありません。

■誰もがプログラムをつくる時代になる

誰もが自分のつくりたいソフトウェアを自分でつくる時代が到来しました。未来を担う子どもたちが柔らかい頭脳で創造性豊かなプログラムをつくる能力を身につけておくことは、ICT技術者育成のためだけでなく、より幅広い産業人の育成につながるものと考えます。

2. プログラミングコンテスト募集テーマと対象

(1) 部門：次の2部門とします。

① 小中学生部門

② 高校生・高専生（3年生以下）部門

(2) テーマ：「旅～新たな世界へ飛び出そう～」

「旅～新たな世界へ飛び出そう～」に関連するプログラム

(3) 対象：鳥取県内の小学生・中学生・高校生・高専生（3年生以下）

(4) プログラミング言語：不問

3. プログラミングコンテスト日程

(1) 作品募集期間

令和5年9月1日(金)～令和5年10月25日(水) 当日消印有効

(2) **一次審査**：一次審査員による書類審査 部門毎に優秀5点選抜

令和5年11月2日(木) 9時～16時 オンライン審査

「応募テーマの合致性、開発目的」「アイデア性、発想」「プログラムの機能」等といった視点で評価します。

審査結果については、協会ホームページ上で発表するほか、審査員のコメントを添えて「一次審査結果通知」を郵送します。一次審査の審査員コメントを参考に作品の修正をしてもかまいません。

(3) **二次審査**：二次審査員による面接審査（オンライン）

令和5年12月2日（土）午前10時～12時

会員企業の技術者が画面やソースの確認をしながら「プログラミング上の工夫」や「機能の実現度」等について評価します。

(4) **最終審査**：デモンストレーションとプレゼンテーション（オンライン）

令和5年12月2日（土）午後1時～5時

デモンストレーションでは、作成したプログラムの機能やアピールポイント、画面を紹介していただきます。プレゼンテーションでは、作成したプログラムについて、「どのようなアイデアをプログラムにしたのか」「プログラム作成で苦労した点や工夫した点」などについての発表を行っていただきます。

*一次審査・二次審査・最終審査の合計点により、部門毎に「知事賞」「協会会長賞」「優秀賞」を決定します。

4. 参加資格

鳥取県内の小・中学生、高校生および高専生（3年生以下）

個人または最大4名までのグループ。ただし、同じ生徒が複数のグループに所属することや、重複して応募することは不可とします。

5. 表彰について

知事賞（各部門1点）：賞状および副賞（5万円分の図書カード）

協会会長賞（各部門1点）：賞状および副賞（3万円分の図書カード）

優秀賞（各部門3点）：賞状および副賞（1万円分の図書カード）

6. 応募について

・応募するプログラムは、ハードウェアと連携するプログラムも可ですが、ハードウェア装置そのものの評価は行いません。

・未発表の作品に限ります。ただし、他のコンテストに重複して応募する事は可とします。

7. 全国選抜小学生プログラミング大会（全国新聞社事業協議会主催）への推薦について

小学生の中で最も優秀な作品を全国選抜小学生プログラミング大会（全国新聞社事業協議会主催）に推薦します。

<応募方法>

鳥取県情報産業協会のホームページのプログラミングコンテスト応募フォームからご応募ください。（該当ページ準備中）

お問い合わせ先：

一般社団法人鳥取県情報産業協会 事務局

〒689-1112 鳥取県鳥取市若葉台南7丁目5番1号

TEL：0857-52-6788（午後1時～5時）

FAX：0857-52-6788 E-mail：info@toia.jp